

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1209	(H.24)No.	1209
-----------	------	-----------	------

事務事業名		森林経営計画作成推進事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林資源室		西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備
	小施策	1	林業振興
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	340512
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	林業振興対策費	
項	林業費	(小事業名)	
目	林業振興費	森林経営計画作成推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
面的なまとまりをもった持続的、効率的な森林経営を進めるため、意欲ある森林所有者等が行う森林の現況調査、境界確認、関係者間の合意形成等の活動に対して支援することで、森林経営計画の作成を促進する。	

めざす効果(事業目的)	
意欲的な林業経営により、安定供給体制を構築する。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	森林経営計画が円滑に行われるため、その作成に必要な諸活動に対する事業補助金 対象森林A = 43.89ha 実施森林A = 29.00ha (林業事業体: フォレスト伊賀)	森林経営計画が円滑に行われるため、その作成に必要な諸活動に対する事業補助金 対象森林A = - - - ha (未定) 実施森林A = - - - ha (未定) (林業事業体: 伊賀森林組合) 伊賀森林組合が事業の取扱いを検討中	補助金・交付金		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			森林経営計画が円滑に行われるため、その作成に必要な諸活動に対する事業補助金 実施森林A = 125.00ha	森林経営計画が円滑に行われるため、その作成に必要な諸活動に対する事業補助金 実施森林A = 150.00ha	森林経営計画が円滑に行われるため、その作成に必要な諸活動に対する事業補助金 実施森林A = 200.00ha
直接事業費	200千円	0千円	1,000千円	1,200千円	1,600千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金			500	600	800
県支出金	150		250	300	400
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 50	0	250	300	400
人工数					
職員	0.03人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 236千円	966千円	966千円	966千円	966千円
+ 総事業費	(0千円) 436千円	966千円	1,966千円	2,166千円	2,566千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	補助金の交付件数	件	-	-	-	-
	実績			-	-	-	1
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
森林組合・林業事業者・森林所有者等が行う森林経営計画が、円滑に行われるために当該事業を実施するものであり、事業自体が受身的であり、H23年度は計画数が1事業と少なかった。	小規模・分散的な森林所有構造を改革し集約化する必要から、森林経営計画の件数を増やす必要がある。 名張市として、森林経営計画による施業集約化が必要であることを森林所有者に啓発していく。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
国及び三重県の予算的環境は厳しく、予算要求ベースの配当が困難になっている。	事業主体となるフォレスト伊賀や伊賀森林組合からは、当該の森林経営計画作成が円滑に行われるには、三重県や名張市と協同して森林経営計画による施業集約化の必要性を森林所有者に解説すべく説明会などを開催することが必要との意見。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	名張市として、森林経営計画による施業集約化が必要であることを森林所有者に啓発していく。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(拡大)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項